



年頭のご挨拶



英然会だより

新春号

平成28年
1月発行



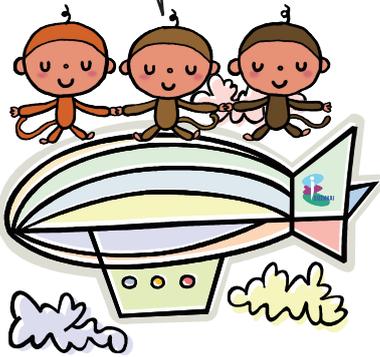
発行元
英然会
広報委員会
中津市中央町
1-8-36

新年おめでと〜ございます。また、新しい年が始まります。今年は申年です。「申」という字は稲妻の形の象形文字で、稲妻は天の神の発する威光を示すものとの考えから「申」の字に示す偏をつけて神の字になります。「申」の本来の読みはシンで、伸びるという意味や申しのべるという意味に使います。転じて干支の十二支では「草木が十分に伸びきって実が熟成して固く殻におおわれていく時期」である旧暦の七月に当てられることとなります。

人に似ている猿(サル)は古代から神聖なものとも考えられていて、山の神、太陽神の使者としても祀られています。猿が干支の申に当てられたのも頷けます。また猿は「去る」に通じるため、難が「去る」と信じられてきました。そして「いいことや幸せがやってくる年」の説になったようです。元気なおサルのお尻が連想させるからでしょうか、申年に厄除けの色である「赤い」パンツを履くと元気になる。などの言い伝えにもなったようです。

とにもかくにも今年は干支のおサルにあやかつて赤いパンツを履いて元気いっぱい頑張りましょう。きつと「いいことや幸せがやってくる」と信じて。人の世の中は猿(エン)と縁で結ばれてつながっています。縁を大事に手をつなぎ協同、協力して活動しましょう。

医療法人 英然会 理事長 里見隆彦



申年の今年の抱負

睦み

橋本泰治様 (84)



今年も元気で
いたいです

足をきたえます!

篠原環様 (84)



今年も一年、
病気をせず
みなさんと楽しく
一緒に過ごします

里の手

山戸博子様 (84)



スタイルを良くします

立和ユキコ様 (84)



いきいきクラブ

榎本依子様 (84)



まだまだリハビリに頑張ります

竹添長子様 (96)



これからも元気で
いききたいです

松本カツヨ様 (96)



よく食べて、よく笑い、
いきいきと暮らす

松永フタミ様 (72)

よろしくお願ひします

病棟

み里